

第 1 回 摂津市中学校給食検討委員会の概要について

開催日時 : 平成 24 年 11 月 29 日 (木) 15 時～16 時 30 分

開催場所 : 摂津市役所新館 7 階 講堂

出席委員 : 学識経験者代表 田中章博 園田充子 各委員
保護者代表 貫山育枝 松原隆文 各委員
中学校校長会代表 筒井 豊 委員
摂津市学校給食会会長 敷本 悟 委員
小学校栄養教諭代表 西村ゆり子 委員
食育担当中学校教諭代表 濱西 加代子 委員

委員長選出 : 委員互選により学識経験者代表 田中章博委員を委員長に選出
委員長により職務代理者を同代表の園田充子委員を指名

議 事 :

(1) これまでの検討経過について

- 中学校給食導入実施計画書 (平成 24 年 3 月提出分)
- 中学校給食実施に向けた説明会 (平成 24 年 7 月実施)
- 中学校給食に関するアンケート結果報告 (平成 24 年 9 月実施)

○ 上記資料をもとにこれまでの検討経過について事務局より説明

(主な意見等)

○ アンケートについて、自由記述でコンビニのお弁当と変わらないのではないかと書いたことが書かれてあり、デリバリー方式のお弁当がどの様なものか理解して回答しているのか疑問に思った。

○ 前回の検討委員会において、どういう趣旨をもって給食導入の検討がされてきたのか、内容を教えてもらいたい。

(2) 実施方式決定に向けた論点 (課題) について

- ① 中学生にとっての学校における昼食の在り方について
- ② 保護者にとっての中学校における昼食の在り方について

(主な意見等)

○ 中学校の現状も含めての意見であるが、給食自体を反対する意見はないと思う。ただ、中学校の現状をいうと、多様な業務が増えているなかで給食指導が増えることでの負担感があったり、昼食時間や休憩が短くなる。それをのばすとクラブ活動の時間が短くなるという別の部分での意見は出てくると思われる。

○ PTA 運営委員会などでも給食の話題が出たが、保護者の方が言われた意見で、給食を否定はされていないが、作るのは大変だけれども子どもに1つなにか愛情を与えたとしたら弁当だと、それが大きいんだと言われていた。

○ 中学校は1時限目から4時限目まで休み時間が10分でありその間に体育の着替えや他の教室への移動時間となっている。昼ごはんを10分程度で食べ、残りの時間を運動場でボールをけったりして、休み時間を非常に楽しみにしている子がほとんどである。

○ 最近は大学生の食事もすごく乱れているとか、お茶の入れ方を知らない子が増えていると聞く。自分で作れるようになるのも食育ではないかと思うので、親に頼るのではなく週1回でも自分で作ってみるということも食育ではないかと思う。全部給食となるとそういう機会も減ってしまうのかと個人的ではあるが思っている。

○ 他県の親戚が、給食がないことにびっくりしていた。いろいろと話をすると温かいものが食べられる、みんなで同じものが食べられる、地元で採れたものが給食だよりに載っていて勉強会もあり、そういうところが給食っていいのではと言っていた。

○ アンケート結果で給食当番が面倒というのは正直なところだと思うが、給食を通して学ぶことはたくさんあると思う。みんなで同じものを食べるということの喜びや大切さ、給食当番を通して誰かに準備してあげることや、してもらうことで家庭で準備してもらうことの感謝の気持ちにもつながる。

○ 食育というのは、はたして給食をやるだけではできないのではないか。また逆に給食をすることで少し進歩するのではないか。その2面性があり今まで検討したが、結論がなくその辺を考えると先送りになるような感じがする。いろいろと問題がある中でそれを全部クリアにして一番いい方法を考えていたら、一体いつ実施できるのかと皆さんの意見を聞きながら思いました。

○ アンケート結果にもあるように各家庭の状況として、共働きが多く時間的な制約の中で弁当より給食がいい、一番大きいのは栄養バランスだと思う。子どもは、お弁当は好き

なものが食べられるという意見が多いが、好き嫌いや嗜好の偏りを少なくするという配慮も給食の中には大きいと思う。給食でいろんなものを食べてもらえるということが大きいから、栄養や献立が保護者のアンケート結果でも上位にきていると思う。

○ 給食になったからといって、弁当を全くなくさなくてもいいと思う。小学校でもお弁当を持って行く日を作ったりしているので、中学校もそれをやってもらってもいいと思う。